

苫小牧法務総合庁舎整備等事業

街並み環境計画懇談会（第3回）議事録

日時：平成17年11月15日（火） 18：30～20：30

場所：苫小牧市民会館 202号室

出席者：

<委員> 五十音順・敬称略

- ・伊藤 久美子 主婦
- ・大槻 泰夫 北海道建築士会苫小牧支部長（北海道コーダー設計㈱代表取締役）
- ・佐藤 郁子 苫小牧駒澤大学国際文化学部 教授
- ・関根 幸子 主婦
- ・原山 巧 苫小牧市企画調整部都市計画課 主査

<オブザーバー>

- ・衣笠 利彦 札幌地方検察庁苫小牧支部長
- ・影久 睦典 ㈱苫小牧法務総合庁舎PFI 業務補佐（岩倉建設㈱）

<事務局等>

- ・下野 博史 北海道開発局営繕部建築課長
- ・鳥井 重弘 北海道開発局営繕部営繕調査官補佐
- ・塚田 浩士 札幌地方検察庁会計課国有財産係長
- ・蝦名 宰 ㈱苫小牧法務総合庁舎PFI 業務担当（岩倉建設㈱）
- ・鈴木 康平 ㈱苫小牧法務総合庁舎PFI 業務担当（岩倉建設㈱）
- ・藤ノ木 慎一 ㈱苫小牧法務総合庁舎PFI 設計担当（㈱INA新建築研究所）
- ・森 廣和 北海道開発局営繕部建築課営繕監督官
- ・佐藤 雅彦 北海道開発局営繕部建築課

配布資料

- ・資料1 苫小牧法務総合庁舎整備事業イメージアップの開催、新聞記事・写真
- ・資料2 外壁の色彩計画等について（立面図）
- ・資料3 外構計画等について（外構図、展示例、緑化計画図）
- ・資料4 裁判員制度について
- ・資料5 平成17年度国土交通省PFIセミナー開催のご案内

本日の議題

- イメージアップ実施報告
- 外壁の色彩計画等について
- 外構計画等について
- その他

議 事

○配布資料についての確認

前回の議事録の確認

イメージアップ実施報告（配布資料1参照）

結果報告事項

○白い仮囲いをキャンパスに小学校がアートに挑戦

（イメージアップ実施内容）

1. 日 時 平成17年10月18日（火曜日）10:45～12:00

2. 場 所 苫小牧市旭町3丁目5番
苫小牧法務総合庁舎新築工事現場
電話 0144-38-5335

3. 参 加 者 苫小牧市立東小学校（1年生～4年生）
対象人数 193名

4. 主 催 北海道開発局営繕部
㈱苫小牧法務総合庁舎PFI

5. 開催テーマ 白い仮囲いをキャンパスに小学生がアートに挑戦

6. 開催趣旨 苫小牧法務総合庁舎は、経年による老朽と狭隘を解消すると共に利用者のより一層の利便性を高めるため、PFI方式により苫小牧東小学校の隣地への移転、新築する施設です。苫小牧法務総合庁舎は苫小牧市立東小学校とお隣同士となることから、小学校の学習時間を活用させて頂き、次代を担う児童達に自由なテーマでデザインしたカラーシートを貼ってもらい、イメージアップを通して児童やその家族、さらには市民にも法務総合庁舎、公共建築に対する親近感を持ってもらう事を開催の目的としています。

7. 開催内容 1回目
AM10:40～10:45 挨拶
AM10:45～11:30 1年生・2年生児童が貼付け
2回目
AM11:30～11:35 挨拶
AM11:35～12:00 3年生・4年生児童が貼付け

当日マスコミは新聞社が5社、テレビ局が1社ほどイメージアップの様子取材をしていました。その内容は添付の資料の中にあるように地元新聞記事や、テレビ放送もされて周辺住民にも大変好評のようでした。当日は天気も良く各方面の協力のもと、大成功に終わったと思います。

質疑応答及び意見交換

（意見）市内の他現場の仮囲いよりも、かわいらしくて良いと思う。

（意見）振り向きたくなるような、かわいく出来てうれしく思っています。

外壁の色彩計画等について（配布資料2参照）

説明及び報告事項

○前回の意見内容について。

（1）外壁色彩計画について

- ・存在感、品格、重厚感のあるイメージ。
- ・純色ではない色。

提 案

外壁色彩3種、6案を提案します。

- A - 1 案 ベージュ系 + 妻面をライトグレー（2色にする）
- A - 2 案 ベージュ系
- B - 1 案 茶系 + 妻面をライトグレー（2色にする）
- B - 2 案 茶系
- C - 1 案 レンガ系 + 妻面をライトグレー（2色にする）
- C - 2 案 レンガ系

○前回の意見内容について。

（2）サッシの色について

- ・シルバーではなく外壁に合うような色が良いのではないかと。（カラーサッシ）
- ・アルミ以上の良い材料を使用した方が良いのでは。

提 案

アルミ製断熱サッシ、シルバー仕上とすることを提案します。

理 由

塗装は経年劣化があるので、金属材の塗装を最小限とし、シルバー色でも違和感のない
タイル色を選定することで、建物が長時間経過しても、貧相にならないように配慮します。

○前回の意見内容について。

（3）ガラスについて

- ・省エネ、環境保護を考慮したものが良いのではないかと。

提 案

省エネを考慮し、透明の複層ガラスを提案します。

理 由

- ・透明の複層ガラスを採用することで、年間熱負荷係数（PAL）を200MJ/m²を実現
- ・low-e ガラスを使用すると、冬季の暖房負荷の減少により夏季の冷房負荷が増えることで、省エネとはならない（建物内の内部発熱が多いため）
- ・熱線反射ガラスを使用すると、周囲に反射障害が生じる。
- ・熱線吸収ガラスは、北海道においては熱割れが生じる恐れがあり、好ましくない。

質疑応答及び意見交換

○外観色彩パターンについて

(意見) グランドホテルニュー王子の色(Aタイプ)は緑に映えて良いのではないかと。白っぽい色は相対的に汚れが目立つ感じを受けた。

色合いとしては、簡易裁判所のしまった感じの色か、ニュー王子の色が生える感じがする。

(意見) ベージュ系の色がいいですね。ハニーカラーというか暖かい色でよいので。

(意見) レンガ系は重たい感じ、どっしりとした感じがする。

(意見) できれば1色で統一した方が良いのでは。

(意見) あまり大きな建物ではないので、1色の方がすっきり見えると思う。

(質疑) タイルの目地はどうなりますか？

引っ掛けるタイプ(乾式タイル)なので目地も同じ色になります、ただ影が出来るので少し黒く見える程度です。

(意見) 雪が降るので、少し色が付いた方がいいのでは。

(意見) 個人的には白色がよいが、無難な色だとベージュ系ですが。

・まとめ

全体を1色で考えて、A-2案が良いのではないかと。

外構計画等について(配布資料3参照)

説明及び報告事項

○前回の意見内容について。

モニュメントについて

(1) モニュメントについて

- ・誰がみても芸術性が理解できないものを飾るのはどうか。
- ・体感型のものが良いのではないかと。

(2) その他

- ・展示スペースは6箇所も必要か。
- ・休憩所と展示物の使われ方。

提 案

展示型作品を展示することを提案します。

理 由

- ・今回の展示スペースに広さを考慮すると、体験型は安全上問題がある。

提 案

カルチャーストリートとの関連性や、周辺環境との融合を図れるものを展示する。選方法としては、下記のようなことを提案します。

1) 道都大学の卒業作品の展示(応募当初の案)

メリット

- ・無償貸与が可能
- ・作品が豊富にあり、選定しやすい。

デメリット

- ・卒業製作なので、地域にふさわしいものがあるか不明。
- ・粘土・石膏などのため、展示ケースのメンテナンスが必要。

2) 現在、苫小牧市内にあるもので設置可能なものを探す。(無償貸与が前提)

メリット

- ・苫小牧にゆかりがある可能性が高い。

デメリット

- ・無償貸与を受けることが可能な物があるかが不明。

3) 展示スペースだけを設け、事業開始期間までに無償貸与を条件に設置者を募る。

メリット

- ・広く公募するほど、作品は見つけやすい。

デメリット

- ・作品の確認・選定作業が必要。

理由

- ・周辺環境にふさわしいものを選定することが可能となる。

提案

植栽について

季節が変わるごとに花が少しずつ咲くように、大きくゾーンを3箇所にわけております。ゾーン1はエゾヤマザクラとヨドガワツツジ、ゾーン2はナナカマドとリュウキュウツツジ、ゾーン3はナツツバキとブンゲンストウヒとして建物側は低木、駐車場側は車が直接見えないように高木系を配置しました。

質疑応答及び意見交換

植栽について

(意見) 木をバラバラに植えるのもよいが、ラインで一つまとめると良いと思う。

ある程度かためて植えると感動をうける。同じ種類の木をまとめて配置した方が良いのでは。

(意見) ではメインで配置するにはどのような種類の植物がよいでしょうか。

(意見) ハマギクという植物が手間もかからず良いと思いますが。

(意見) ナナカマドはどうでしょう、苫小牧市の木がナナカマドですし実が赤くなって綺麗ですよね。

(意見) ナナカマド、ツツジ、ハマギクのラインにすると綺麗に見えると思いますが。

(意見) 宅地を生かした植栽、名所的になるようになればよい。

(意見) 法務局が違う代名称で呼ばれる名所になれば良い。

・まとめ

ナナカマド・ツツジ・ハマギク等、何か一つをメインにして、まとめて配置してはどうか。

休憩所について

(意見) 数が多すぎるのではないか。

(意見) 花が綺麗だとベンチ(休憩所)に座って休もうと思いますよね。

(意見) 待ち合わせの場所として利用できる。

(意見) 屋根付がよい。

(意見) 屋根付きの休憩所は、買い物に出た周辺住民のちょうど良い休憩所になると思う。

・まとめ

3箇所も必要ない、2箇所程度で良いと思う。

モニュメントについて

(意見) 苦小牧ゆかりのある物を置くか、あるいは今置く必要が有るか無いか、どちらにしる壊されないものを使用することが前提と思いますが。

(意見) 市民、団体から要求があった時に寄贈の物を受け入れが出来るように、置くスペースを確保して、あまり急がずに長い目で考えていって良いのではないか。

(意見) マナーも悪い状況から積極的に置かないで、場所だけを確保しておけば良いのでは。

(意見) そう考えると設置場所も6箇所もいらぬのでは、3箇所ぐらいで十分ではないか。

(意見) 建物が出来た段階で建物のイメージに合うものを探す、作るのも良いのでは。

・まとめ

設置場所は3箇所ほどにして、空間の有効性も考え、急いであまりよろしくない不似合いなものを置くよりは、余裕を持って、ここにふさわしいものを選ぶべきですので、継続審議として別なところで考えてもらい、懇談会の意見を反映し、整理をおねがいしたい。

その他質疑応答及び意見交換

(意見) 仮囲いに貼り出している週間工程表は非常に安心感があり、周辺住民に気を使っていることが感じられて良いと思う。やはり子供たちの手形を貼ったのは本当に心が和むものだ。イメージアップで使用した反対側の仮囲いの利用方法は何かありますか。

意見ボックスの回答を貼り出すスペース、工事看板設置場所等に利用したいと思います。

(意見) 仮囲いイメージアップの子供たちの手形は、かわいらしくてとても評判が良い。

その他

平成 17 年度国土交通省 P F I セミナー開催のご案内

苫小牧法務総合庁舎整備等事業での街並み懇談会の関わり方をこのセミナーで紹介したい。

裁判員制度がはじまります

裁判員制度が平成 21 年 5 月までの間にスタートします。

今後のスケジュールについて

今回の懇談会で大枠の意見整理が出来たので、当初予定していた 2 月の最終の懇談会については、来年度、雪解け後に延期し、現場見学を兼ね、懇談会の最終整理と、実施結果の確認をすることとして開催したいと思います。

開催案内は、4 月頃個別にスケジュール等を確認し日程調整後、案内します。